

# おかしん

2021  
12

VOL.809



雪原（由仁町）

特集

## 北海道由仁町 — 碧南市青年友好都市 —

家康公検定 過去問に挑戦！

徳川宗家第十八代当主 徳川恒孝公・幸子夫人 絵画展開催中



# 碧南市

▲油ヶ淵・花しょうぶ園／広藤園（碧南市）

空知管内の最南端に位置する北海道夕張郡由仁町ゆにまちは、夕張連峰と馬追丘陵まおひに抱かれ、南北に夕張川が流れる風光明媚な町です。また、近年では、札幌市まで車で約1時間、新千歳空港までは約30分とアクセスが良いことから「都会に近いちよどよい田舎」としても注目を集めています。

そんな由仁町と碧南市とのご縁の始まりは、明治まで遡ります。

明治28年、碧南市出身の加藤平五郎ほか19名が由仁町に入植し、故郷『三河』にちなんで、その地を『三川』と名付け、精魂込めて切り開きました。

こうした先人たちのつながりの中で、昭和63年、碧南市が市制40周年を迎えるにあたり派遣団が結成され、由仁町を訪問しました。そして、同年4月5日に開催された碧南市制40周年記念式典において、青年友好都市提携の調印がされました。



《青年友好都市提携調印式》

## 碧南市×由仁町

青年友好都市提携の経緯

北海道

# 由仁町



▲満天の星空／ゆにガーデン・コキアの丘（由仁町）

その後、毎年7月下旬に開催される「由仁町夏まつり 百足競争」へ碧南市民が参加したり、11月に碧南市で行われる「市民ふれあいフェスティバル」で由仁町の特産品を販売したりと、交流を深めています。

また、平成30年に開催された碧南市制70周年記念式典には由仁町から町長や議長が参加し、歓迎会において記念品の交換が行われました。この時に由仁町から贈られた記念品は、碧南市役所1階の多目的ゾーンに展示されており、自由に見ることが出来ます。



《多目的ゾーン（碧南市）》

## 碧南市内で

### 加藤平五郎の足跡を辿る

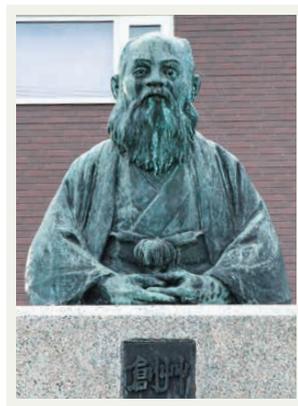
二つのまちを繋いだ加藤平五郎は、新天地・由仁でその才覚を発揮し、素晴らしい功績を残しますが、その土壌は故郷・碧南市で築かれました。

平五郎が佐々木恵遠に初学を習い、師の墓碑を建てた精界寺（住吉町）や、清沢最天の塾に通い和漢を学んだ西光寺（浅間町）など、碧南市内にも所縁の場所があり、その足跡を辿ることができます。加藤平五郎の生涯は次ページで詳しく紹介します。

架け橋となったミカワ男児

# 「加藤平五郎」

(1860～1925)



《三川駅前にある胸像》

加藤平五郎は、万延元(1860)年、碧海郡棚尾村(現 碧南市志貴町)に生まれ、1歳のときに大浜村浜尾(現 碧南市鶴見町)にある本家の嗣子として移籍しました。20歳で大浜村役場に勤め、頭角を現します。23歳の頃には、平五郎の優秀さに注目した郡内随一の豪商・岡本八右衛門によって、番頭として迎えられました。そして、明治用水開削に伴う米津村や安城ヶ原の原野開墾を任されることとなりました。

この経験で開拓農業技術を体得した平五郎は北海道の開拓を図り、明治28年、婚約者や開拓民19名とともに北海道へ渡り、故郷・三河の名を付けた三川地区の開拓を始めました。

## 《平五郎の功績》

### ■生活基盤の整備

様々な災害に見舞われながらも、排水路の開削や、架橋、ため池をつくるなど開拓を続けました。

また、郵便局開設や、治安維持のための巡查駐在所誘致など基盤整備に尽力しました。

### ■人づくり

精神面での安定を図るため、私費で神社を

祀り、寺院を建て、墓地を設け、人々に墳墓の地としての意識付けをしました。  
また、農民子弟の教育を重視し、三川簡易教育所を開設。学用品や貧困者には弁当までも与え、出席を促しました。

### ■三川停車場開設

北海道炭礦鉄道(現 JR室蘭本線)・三川停車場を誘致。停車場開設により、農産品輸送の効率化はもちろんのこと、人々の往来も活発化し、町としての成長を遂げました。

当初は冷害凶作が続き、苦難を極めるなか、平五郎の心を支えたのは、故郷の偉人・徳川家康公の遺訓でした。自ら浄書して枕元に置き、処世の戒めにしたといわれています。

こうした平五郎の功績が認められ、亡くなる年の4月には勲八等瑞宝章を授与されました。



《三川神社(由仁町)》

明治28年4月17日、三川開拓の守護神として平五郎らにより創立

## 《受け継がれる架け橋》

廃校となった由仁町立三川小学校跡地に、2018年、碧南市に本社を置く日進工業株式会社が、株式会社チュブチニカを設立しました。

ものづくり事業のほかに、広大な敷地を活用したドローンスクールの運営や、農業IoT事業などを手掛ける一方で、地元の小中学校でプログラミングの授業をしたり、地域おこしの一環としてドローンレース大会を開催したりと地域貢献活動にも力を入れています。



英国風の庭園が広がる「ゆにガーデン」。春から秋にかけて、毎週のようにメインの花が入れ替わり、訪れるたびに異なる表情を見せてくれます。また、「コキアの丘」と呼ばれるエリアでは、北海道最大級となる32,000株のコキア(ほうき草)が植えられており、夏の緑色から秋の紅葉に変化する様子を大迫力で楽しむことができます。



# 「ゆにガーデン」



# 「サイクルツーリズム」

由仁町は隣接する栗山、長沼、南幌の3町とともに「そらちゲートエリア」を構成し、サイクリスト向けの様々なイベントを開催するなど、サイクルツーリズムを推進しています。「バイクウェイ」と呼ばれる自転車で楽しめる道路網には、現在地の目印となる補助看板が設置されています。雄大で美しい田園風景が広がり、適度なアップダウンに富んだ由仁町の道は、多くのサイクリストを魅了しています。



## 《コーヒー色の湯》

由仁町の地名の由来は、アイヌ語の「ユンニ(温泉のある所)」と言われています。

その名のとおり、由仁町には「ユンニの湯」という温泉施設があり、珍しいコーヒー色のお湯が楽しめます。お湯には炭酸水素イオンが多く含まれており、ぬめりがあり、肌がすべすべになることから、「美人の湯」として人気があります。

写真提供：碧南市、由仁町、(一社)由仁町観光協会

アフターコロナの旅先に、ご縁のある都市を選んでみてはいかがでしょうか。



## Information

由仁町産業振興課  
TEL 0123-83-2114

由仁町地域活性課  
TEL 0123-83-2112

(一社)由仁町観光協会  
TEL 0123-83-2136

 公共交通機関をご利用の場合

・飛行機/新千歳空港から  
電車 (JRで約1時間)、レンタカー (約30分)

まだまだ  
紹介しきれない  
由仁の魅力は  
こちらから！



## 由仁の名産品

由仁町の基幹産業は農業であり、特に水稲に力を入れています。安心して美味しいお米づくりに取り組み、徹底した品質管理と均一で安全なものに仕上げています。由仁のお米は、ふるさと納税の返礼品としても人気です。

詳しくはこちら



# 家康公の平和外交

聴講  
無料

【唐船・南蛮船図屏風】 出典：国立文庫財団デジタルコンテンツ検索システム (<https://collection.kyuhaku.jp/advanced/4520.html>)

関ヶ原の戦いで天下を統一した徳川家康公は、平和国家建設を進める一方で積極的な外交政策を展開しました。スペイン、オランダをはじめ西欧諸国やアジア諸国との交易を促進したほか、文禄・慶長の役で閉ざされた朝鮮との国交も回復したのです。

家康公のダイナミックな平和外交にスポットを当て、全方位の海外戦略に学びます。

日時

令和4年 **2月6日(日)**  
13時30分～17時

会場

岡崎市せきれいホール

(岡崎市朝日町3丁目36-5) ※駐車場に限りがあります。公共交通機関をご利用ください。

定員

**250名** ※定員となり次第、締め切らせていただきます。  
※新型コロナウイルス感染状況により定員数を変更する場合があります。

申込

お電話または岡崎信用金庫各支店にご用意してある申込書にご記入のうえ  
ファクス、郵送にてお申込みください(聴講券の発行はありません)。

問合せ  
申込先

一般社団法人徳川家康公に学ぶ会 事務局 岡崎信用金庫地域振興部  
〒444-8602 岡崎市菅生町字元菅41番地  
TEL : 0564-25-7213 FAX : 0564-25-2861

新型コロナウイルス感染症対策への  
ご協力をお願いいたします。



※当日、体温が37.5度以上の方は入場できません。

内容

第1部 基調講演

1 「家康公の海外戦略」

講師 静岡大学名誉教授  
徳川みらい学会会長  
小和田 哲男氏

2 「誠心外交 家康公と朝鮮通信使」

講師 国際日本文化研究センター元教授  
東京大学学術博士  
上垣外 憲一氏

第2部 パネルディスカッション

〈テーマ〉家康公の平和外交

パネリスト

公益財団法人徳川記念財団理事長  
徳川 家広氏

小和田 哲男氏 上垣外 憲一氏

コーディネーター

歴史研究家  
岡崎ふるさと歴史教室主宰

市橋 章男氏



とくがわ いえひろ  
徳川 家広氏



おわだ てつお  
小和田 哲男氏



かみがいと けんいち  
上垣外 憲一氏



いちはし あきお  
市橋 章男氏

# 家康公検定 過去問に挑戦！9



クリスマスツリー、イルミネーション…12月の街はイエス・キリストの降誕を祝うクリスマスムード一色に包まれますが、家康公は天文11年(1542)、このクリスマスの翌日、12月26日に岡崎城内にて産声をあげました。クリスマスといえばトナカイですが、さて、岡崎城といえば？

## 問題

家康公が生まれたとき岡崎城に現れた、岡崎城の守り神ともいわれる空想上の動物は何でしょうか？

- (1) 麒麟 (2) 獺 (3) 鳳凰 (4) 龍

## 解説

岡崎城天守閣に隣接する龍城神社の天文11年12月26日の社記には「この英雄児の生まれ出ずるを待つが如く、城楼の上に雲を呼び風を招く金鱗の龍を見たりと云う」と家康公生誕時の伝承が記されています。岡崎城はもともと龍頭山に築城され、別名「龍城」とも「龍ヶ城」とも呼ばれ龍に関係の深い城でした。

龍城神社の西側には伝説の井戸「龍の井」(「龍ヶ井」とも)があり、ここから金鱗の龍が立ち昇ったと伝えられています。



「龍の井」(岡崎公園)

正解……(4)

開催中

徳川宗家第十八代当主

# 徳川恒孝公・幸子夫人 絵画展

岡崎信用金庫資料館では、徳川宗家第十八代当主・恒孝公と令夫人・幸子様のお二人の絵画展を開催しています。幼少の頃より絵に親しみ、それぞれに画技を磨いてこられたお二人。描く題材は、静物や人物、何気ない日常、そして広大な自然などバラエティに富んでいます。その中でも、海外赴任や国際会議などで50か国以上の国々を訪れた恒孝公が描く異国の煌めく街並みや、幸子様の描く可憐で瑞々しい花々は、見る人の心を明るく、温かくしてくれます。会期は2022年2月13日(日)までです。皆さま是非お越しください。

## 【岡崎信用金庫資料館】

住所：岡崎市伝馬通1丁目58

電話：0564-24-2367

開館時間：10:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)  
12月31日～1月3日

入館料：無料

## 【交通案内】

公共交通機関ご利用の場合  
名鉄本線東岡崎駅 徒歩約10分  
名鉄バス籠田公園前下車 徒歩約2分



<https://www.okashin.co.jp/local/museum/>

※感染症対策のため、入館時の検温・手指消毒およびマスク着用のご協力をお願いいたします

# 年末交通安全

毎月一回発行  
発行所 岡崎市菅生町字元菅四一

12月は、日没時間が早くなり、交通量も増えることから、年間で最も死亡交通事故が多い月です。

何かとせわしない師走ですが、心にゆとりを持ち、いつも以上に慎重な運転を心がけましょう。また、「飲酒運転は絶対にしない！させない！」を徹底しましょう。

## 岡崎警察署の取組み

### ◆交通取締り実施予定ならびに重点取締場所の公開

岡崎市と幸田町を管轄区域とする岡崎警察署では、「オープンな取締り」をすることで、前年に比べ、人身交通事故発生件数を約200件減少させています。



交通安全マップを作成し、人身事故発生場所を明示するとともに、重点取締場所を公開しています。

交通取締り実施予定日時・場所・取締り重点項目をホームページに公開しています。

### ◆署を挙げての立哨

月に2回、交通事故“魔の時間帯”である夕方に、警察官による立哨を行っています。

主要幹線道路などから実施路線を決め、要所要所に警察官を配置します。

交通課の職員だけでなく、全課から職員を集め、署を挙げての取組みを行っています。



警察官の姿が見えるだけでも、抑止力になります。

### ◆岡崎幸田交通安全セーフティレディ

地元企業の女性社員とともに、当金庫職員もセーフティレディとして、岡崎警察署の啓発活動に参加しています。

11月30日(火)に南公園(岡崎市)で行われた交通安全パレードでは、訪れた方々に啓発品を配布し、交通安全を呼びかけました。



発行／岡崎信用金庫 編集／地域振興部  
電話〈〇五六四〉二五七二二三(https://www.okashin.co.jp)